
2017年9月10日(日) 国崎 たて釣り 功成丸
中潮:旧7/20 満潮 08:19(212cm) 干潮 14:17(63cm) 満潮 20:25(213cm) 鳥羽
ハマチ43cm (アベレージ40cm) 自分 12尾 ツレ 9尾
自分 ヒラメ46cm タイ33cm ヤキダイ 2尾 アオハタ33cm カマス 1尾
ツレ ヤキダイ 2尾 アジ 1尾

10時30分 現地着	14時17分 干潮 (鳥羽63cm)
11時30分 釣り座抽選	18時00分 納竿 沖上がり
12時00分 出船	
12時15分 釣り場着	魚処理3時間30分

【料金】 乗り合い 10,000円 仕掛け、氷付き 釣り座は抽選

【仕掛け】 電動リール使用 竿受けが必要 おもり 80号
※魚を絞めるためゴム手袋を持参
竿 ウタセ真鯛用(自分) ベイトが掛かるのが分かった
ライトゲーム モデラート(ツレ) ベイトが掛かるのが分かった
サービスの仕掛け
伊勢湾 たて釣り 6本鉤 (ホロフラッシュ)
強靱イサキ鉤11号 幹糸10号 ハリス10号 枝10cm 枝間40cm 全長2.8m
自分は根掛かり対策として、下のサルカンにフロロ4号を50cm付けて、オモリを結んだ。

【様子】

- たて釣りの釣果が上がっている。3日前に予約を入れた。土曜日の午前便・午後便、日曜日の午前便は満席で、日曜日の午後便しか空いていなかった。これに予約を入れた。当日、これも満席だった。国崎の宏漁丸も近くで釣っていたが、空いていた。
- 晴れ、風はほとんどなし。酔い止めを飲んだ。酔わなかった。
- 釣り座は5番くじを引いた。左舷後ろから2番3番となった。
- 船長からベイト(イワシ)の棚と水深のアナウンスがある。例:「25mから35m、水深40m」
- 釣り開始直後から、ハマチが掛かった。
- 14時ごろ、「潮止まりでベイトが動き回る。」とアナウンスがあった。魚の活性が下がっている。
- 根がある場合には、「根掛かりに気をつけて」とアナウンスがあった。このアナウンスがあったときには、底から少しあげていた。根掛かりしたり、これにより仕掛けが切れたら、時間ロスになると考えた。
- 18時、「これで終わります」と突然、アナウンスがあり、終了となった。

【ドラッグ】

- ブリが釣れていたことから、ラインをきつく引き出したときにドラッグが滑るように調節した。

【ベイトを掛ける】

- 「ベイトの棚は○mから△m。水深◎m。」とアナウンスがある。ここでは、「棚は25m～35m、底40m」とする。

- 仕掛けを一気に落とし、25mで止める。（ベイトが掛からなければ）→ 1～3m、一気に落とし止める。→ 35mまで繰り返す。→ 更に5mくらい落としてから、指示棚の中央(30m)まで速いスピードで巻き上げて止める。→ 上の棚(25m)まで速いスピードで巻き上げ止める。ベイトが掛かるまでこれを繰り返す。
- 釣っている途中で指示棚が急に変わった。
 - 今の位置より下がった場合は、すぐにトップスピード落として止める。
 - 今の位置より上がった場合は、速いスピードで巻き上げて止める。
- ベイトの位置が高くなった。＝大型魚に追われているのかもしれない。
 - 指示棚が急に10mとアナウンスがあり、速いスピードで巻き上げていった。16mで当たりがあった。鉤にイワシがついていたのかもしれない。ダブルで掛かっていた。

【ベイトが掛かった】

- ① 少し待つ
 - ② ゆっくり少しずつ下げていき、待つ。
 - ③ 下の棚で待つ
 - ④ 底まで落とす。根掛かり防止のために少し上げる。ヒラメ、タイ狙いである。
 - ⑤ スピード7～8(止まらない一番遅い速さ)で巻き上げていく。下の指示棚25mで止める。
 - ⑥ 更に、指示棚の中央まで、スピード7～8で巻き上げていく。
- ベイトが掛かっている様子がない。指示棚までビューンと巻き上げて止める。これで掛からなければ、ベイトを掛け直す。
 - ベイトの当たりが大きくなった。→ たくさん掛かった。または、大型魚が近づいてきたのかも。

